

ファッション
One Point
アドバイス

人気の夏の浴衣

夏になると、イベント会場はもちろん、都心の街中などでも浴衣姿を多く見かけます。若者にとって浴衣は今や、夏祭りだけでなく、夏場のちょっと特別な日に着る服として浸透しています。一方、観光地などでは浴衣を着て日本の夏を楽しむ外国人客も増えています。

ところでこの浴衣、値段はピンキリ、さまざまあります。スーパーや百貨店の呉服売り場では、人気のデザイナーズものなどが吊るし(出来上がった状態のもの)で売られるのが普通になり、洋服感覚で購入後すぐに着用できるのが“今どき”のようです。

浴衣の生地は木綿が主ですが、この木綿にもいろいろな種類があります。高級なものは「綿紅梅(めんこうばい)」と呼ばれる、格子状に太い糸を織り込んだ反物です。異なる太さの糸を組み合わせて格子状に織ることで、生地に凹凸が現れます。この凹凸を意味する言葉「勾配(こうばい)」から「紅梅」という名称が付けられました。ごく細い綿糸で織った薄手の生地が、太糸を格子状に織り込むことで、肌に生地がまとわり付かない清涼感のある高級浴衣に仕上がります。

通常の浴衣はその名の通り、湯上りに着る着物なので、ほんの普段着としかみなされません。しかし、綿紅梅の浴衣は、半襟をつければ夏の着物(紵や紗の着物)として着用することができ、白足袋と草履を合せて、夏の装いとしてホテルのロビーなど、オフィシャルな場所でも問題ない服装になります。

綿の浴衣以外にも、麻の「上布」や、太糸だけを絹糸にした「絹紅梅」など、夏の浴衣には見た目にも涼しく、また実際に着心地も快適なものがいろいろとあります。ぜひ一度、呉服専門店などでコーディネートしてもらってみたいかがでしょうか。



mat

Clipbox Topics

猛暑でスカートに サンダルのスタイルが人気

繊維業界の専門紙『織研』によると、東京都内の多くの百貨店では、ファッション性の高いサンダルが売れているそうです。猛暑の影響もあってか、昨年までのパンツルックに変わって、スカートにサンダルというファッションが注目されています。



装飾のある厚底サンダルがヒット(織研電子版)

百貨店で共通してスエード素材のものが売れているということ。デザインではかかとを固定しないつっかけタイプのミュールサンダルや厚底サンダル、足首をストラップで巻いたアングルストラップのデザインヒールなどが人気のようです。色は赤やシルバー、ラインストーンや飾り鉾のスタッズなどの装飾があるアイテムなどファッション性の高いものが増えてきています。

HD NEWS 2018年7月31日(隔月)発行 第14巻第4号通巻80号

くらし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 80



ファッション・ワンポイント: 人気の夏の浴衣
クリップボックス・トピックス: 猛暑でスカートにサンダル…
衣類のケア講座: 冬物の高温での夏季保管は危ない!
衣生活の知恵: 高温多湿の夏・汗ジミに注意

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



衣類のケア講座

コートやダウンなど冬物の 高温での夏季保管は危ない!

● 収納中にも衣類は変化しています

冬物のコートやダウンジャケットを、猛暑の夏にクーラーの効いていない部屋のクローゼットで保管していませんか？

ファッション性の高いコートはボンディングなどの樹脂加工、またほとんどのダウンジャケットは表面や裏面にコーティングなどの樹脂加工が施されています。



表裏が接着されたボンディング加工製品

服飾製品に使われている多くの樹脂は、高温多湿という環境に長時間置いていると、加水分解という現象を起こし、徐々に変質して接着が剥がれて生地が変形したり、樹脂が溶解してシミになってしまう場合もあります。また、樹脂が分解して劣化すると、ドライクリーニングの影響を受けやすくなってきます。



樹脂の劣化による表地が剥がれてブクついた



樹脂が高温多湿の保管で溶けてシミになった

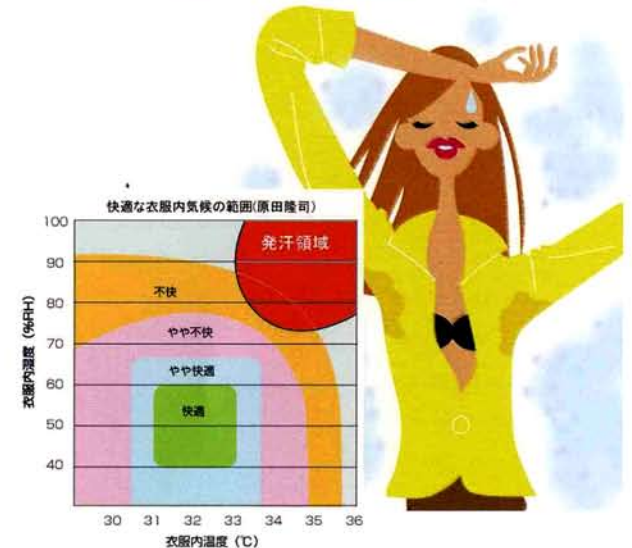
● 大切な衣類はクーラーで暑さ対策

戸建ての家で、1階のリビングはクーラーが付いているけど、2階の部屋は高温になっていることはありませんか？ そんな部屋のクローゼットに冬物を保管していると、傷んでしまうことになりかねません。大切な高級ブランドのファッション製品は、涼しい部屋で保管しましょう。

また、高温と湿気が大敵ですから、乾燥した晴れた日には、クローゼットから保管中の冬物を取り出して、陰干しするというのを夏季の間に最低1回は行うようにしたいものです。



高温多湿の夏 汗ジミに注意!



日本は冬に降水量が少なく乾燥し、気温が高くなるにつれ降水量と湿度が上昇する温暖湿潤気候です。夏はジメジメして蒸し暑いという印象になります。これに比べて、イタリアなどの地中海性気候では、冬は雨が降りジトジトしていますが、夏は晴天が続きカラッと乾燥した爽快な気候になります。気温と湿度が同時に上がることによって、人は大量の汗をかきます。気温が高くても、乾燥していれば汗をかかず、湿度が高ければ汗をかくということです。このことから、素肌にジャケットを羽織ったファッションは、イタリアでは良くても、日本では汗ジミだらけになってしまいます。